

令和5年度 一般社団法人日本メンズファッション協会 事業報告書

1. 事業報告書

1) 定例総会

日 時 令和5年5月23日（火）午後1時00分～1時45分
場 所 グランドヒル市ヶ谷 東館3階「瑠璃（西）」の間（東京都 新宿区）
出席者 116名（代理人出席及び表決委任者を含む）
議 事 （1）令和4年度事業報告並びに収支決算の件
（2）令和5年度事業計画並びに収支予算の件
（3）理事及び監事改選並びに執行役員の選任の件
（4）事務所移転の件
（5）その他

2) 理事会

・第1回理事会

日 時 令和5年5月23日（火）午前10時30分～12時00分
場 所 グランドヒル市ヶ谷 東館3階「珊瑚」の間（東京都 新宿区）
議 事 （1）総会上程議案の件
（2）入退会の承認
（3）その他

・第2回理事会

日 時 令和5年8月2日（水）午後3時00分～3時45分
場 所 原宿 東郷記念館 3階「聚洗」（東京都 渋谷区）
議 事 （1）令和5年度第1四半期事業経過報告並びに収支の件
（2）令和5年度事業計画進捗状況の件
（3）入退会の承認
（4）その他

・第3回理事会

日 時 令和6年2月14日（水）午後3時30分～4時30分
場 所 原宿 東郷記念館 3階「聚洗」（東京都 渋谷区）
議 事 （1）令和5年度下半期事業経過報告の件
（2）令和6年度事業計画の件
（3）入退会の承認
（4）その他

3) 各事業経過報告

■日本ファーザーズ・デイ委員会

6月の第3日曜日「父の日」を記念し、平和で円満な家庭生活の推進を目的とし、「父親への感謝」と「お父さん頑張って」と応援する気持ちを“黄色いリボン”に託した『父の日黄色いリボンキャンペーン』は42年目を迎え、次の事業を行った。

後援:経済産業省(キャンペーン全体)、文部科学省(お父さんへの「似顔絵」「作文」コンクール)

① 第42回『ベスト・ファーザー イエローリボン賞』発表・授賞式

キャンペーンの中心的事業である「イエローリボン賞」の発表は、東京會館にて開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドラインが緩和されたものの、着席スタイルで開催し、来場者の理解も得て無事に終えることができた。なお、授賞式の模様は、テレビ、新聞、雑誌、Webなど様々な媒体で取り上げられ、健康で明るい話題として「父の日」を大いに認知させることができた。

・開催日 令和5年6月6日(火)

・場所 東京會館 ローズの間 (東京都千代田区)

《ベスト・ファーザー イエローリボン賞受賞者》

政治部門 五十嵐立青(つくば市長)

経済部門 数原滋彦(三菱鉛筆株式会社 代表取締役社長)

学術・文化部門 桂 宮治(落語家)

芸能部門 高橋克典(俳優)

スポーツ部門 武藤敬司(元プロレスラー)

・入場者数 約400名(内訳 報道関係120名、会員ほか280名)

②お父さんへの『似顔絵』『作文』コンクール

親子のより深く強い絆を願って官公庁、教育委員会等のバックアップにより小・中学校を中心に実施した。

・第34回お父さんへの『似顔絵』『作文』コンクール受賞者発表

受賞者発表 令和5年6月6日(火)

《コンクール受賞者》

・似顔絵部門

文部科学大臣賞:松代帆乃佳、FDC会頭賞:松井 平、金賞:飯島 凜、

銀賞:仲川 直、銅賞:大下夏希、佳作:牧野妃翠、宮原那菜、川島そら

・作文部門

文部科学大臣賞:藤本千尋、FDC会頭賞:小松崎有美、金賞:野入桃子、

銀賞:國吉桃美、銅賞:大平真由美、佳作:今尾僚子、栗原佑奈

・第35回お父さんへの『似顔絵』『作文』コンクール作品募集

期間 令和5年4月1日(土)～8月31日(木)

② 『ベスト・ファーザー ブック』発行

- ・発行日 令和5年6月6日（火）
- ・発行 日経BP

④ 「父の日が来たよッ！」告知販促ツール発行

プレゼント習慣の推進、定着の為に小売店（百貨店、量販店、専門店等）においてイエローリボンをシンボルマークとして販促活動を推進し、参加企業の売上増に貢献すると共に、市場の活性化を図った。

⑤ 「イエローリボン ベスト・ファーザー賞 認定商品」制度

「お父さんが笑顔になるもの」や「家族で満ち足りた素敵な時間を共有するもの」といった選考基準をもとに、8商品を選定し紹介を行った。選出された製品は、それぞれの企業においてPR及び販売促進活動に役立てていただいた。

⑥ チャリティ活動

- ・「あしなが育英会」に対して寄付金を贈呈。
- ・児童擁護施設四恩学園に会員企業から提供されたチャリティグッズを寄贈。

■グッドエイジング委員会

2003年より立ち上げ21年目を迎えたグッドエイジング事業は、人生100年時代を「いきいき、楽しく、かっこよく」送る新しいライフスタイルを提唱しようというもので、次の事業を行った。

また、後世に受け継いでいかなければならない「メイド・イン・ジャパン」の技術力。歴史と伝統からくるノウハウに裏打ちされた“技”“美”“心”を持つ個人及び企業を「MFUマイスター《技術遺産》認証」として顕彰した。

①第21回『グッドエイジャー賞』発表・授賞式

- ・開催日 令和5年9月6日（水）
- ・場所 グランドプリンスホテル高輪 プリンスルーム（東京都 港区）

《グッドエイジャー賞受賞者》

- 齊藤 寛 （株式会社シャトレゼホールディングス 代表取締役会長）
- さだまさし（シンガー・ソングライター、小説家）
- 高橋伸昌 （株式会社江戸清 代表取締役会長）
- 中村あゆみ（ロックシンガー）
- 栢本俊洋 （JESCOホールディングス株式会社 代表取締役会長兼社長）
- 宮崎美子（女優）
- ・入場者数 約340名（内訳 報道関係50名、一般 290名）

②『グッドエイジングブック』発行

- ・発行日 令和5年9月6日（水）
- ・発行 アイピーエー

③MFUマイスター《技術遺産》認証 授与式

- ・開催日 令和5年9月6日（水）
- ・場所 グランドプリンスホテル高輪 プリンスルーム（東京都 港区）
（第21回グッドエイジャー賞と併催）

《MFUマイスター認証受賞者》

- 佐野統康（丸正ニットファクトリー株式会社 代表取締役社長）
- 長谷川裕也（株式会社BOOT BLACK JAPAN 代表取締役）

④グッドエイジングコミュニティ活動の支援

- ・「大阪グッドエイジング倶楽部」（会員数：約80名）支援

■ベストドレッサー委員会

ファッション意識の向上、豊かで充実した生活の提案、ファッション産業界の発展と各界の文化交流を目指し、社団法人の設立時から続く協会を代表する事業である。ファッションセンスは当然のことながらユニークかつ個性的な方々、ライフスタイル全体にお洒落感の漂う方々など幅広い観点からベストドレッサーを選出した。

52回目となる授賞式の模様はテレビ、新聞、雑誌、インターネットなど様々な媒体で取り上げられ、年末恒例の明るい話題を提供することができた。

また、東日本大震災以降チャリティ活動に力を入れ、「奇跡」や「夢かなう」といった花言葉がある「ブルーローズ」のピンバッジを販売し、その売り上げをチャリティとして前年に引き続き「あしなが育英会」に寄付した。

①『第52回 ベストドレッサー賞』発表・授賞式

- ・開催日 令和5年11月29日（水）
- ・場所 セルリアンタワー東急ホテル（東京都 渋谷区）

《ベストドレッサー賞受賞者》

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| 政治・経済部門 | 水口貴文（スターバックス コーヒー ジャパン株式会社 代表取締役 CEO） |
| 学術・文化部門 | 隈 研吾（建築家） |
| 芸能部門 | 赤楚衛二（俳優） |
| 芸能部門 | 川口春奈（俳優） |
| スポーツ部門 | 栗山英樹（2023WBC 日本代表監督） |
| 特別賞 | 伊東玄聖（ノーベル平和賞受賞者世界サミット 副会長） |
- ・入場者数 約660名（内訳 報道関係200名、会員ほか460名）

②『BEST DRESSER STYLE BOOK 2023』発行

- ・発行日 令和5年11月29日（水）
- ・発行 ハースト婦人画報社 メンズクラブ編集部

■ベストデビュタント委員会

デビューを果たした、若き才能あふれるクリエイターたちをサポートするために創設された「ベスト・デビュタント オブ ザ イヤー」。デビュタントとはフランス語の「社交界などでデビューする人」。20周年を迎えた本賞は各界のデビュタントを応援することで、新しいジャパン・クリエイションの発信に貢献することを目的としている。

令和5年度の受賞者は、社会・文化、各業界にその活躍が多大な影響を与え、各部門で独自のスタイルを確立し、日本のみならず世界での活躍が期待される方々を選出した。

①『第20回 ベストデビュタント オブ ザ イヤー』発表・授与式

- ・開催日 令和5年11月29日（水）
- ・場所 セルリアンタワー東急ホテル（東京都 渋谷区）

《ベストデビュタント オブ ザ イヤー受賞者》

後藤慎平（MASU デザイナー）ファッション部門

サカイカナコ（KANAKO SAKAI デザイナー）ファッション部門

阪田知樹（ピアニスト・作曲家）音楽部門

友沢こたお（画家）映像・グラフィック・アート部門

コヴァレヴァ・アレクサンドラ+佐藤 敬/KASA（建築家）空間・インテリアデザイン部門

②『ベストデビュタント2023 ブックレット』発行

- ・発行日 令和5年11月29日（水）
- ・発行 スピリコ

■いい夫婦の日をすすめる会

「いい夫婦の日」は、1988年に財団法人余暇開発センター（現:公益財団法人日本生産性本部）が、夫婦で余暇を楽しむゆとりのあるライフスタイルを提案したことに伴い制定。また、その日付が11月22日と定められたのは、「ゆとりの創造月間」が11月であったことから、「いいふうふ」の語呂あわせで22日に定められた。

本会は、10年前より当協会が事務局機能を果たし、次の事業を展開した。

①いい夫婦パートナー・オブ・ザ・イヤー2023 記者発表&記念パーティ

- ・開催日 令和5年11月7日（火）
 - ・場所 原宿 東郷記念館（東京都 渋谷区）
- 《パートナー・オブ・ザ・イヤー受賞者》
- 田辺誠一（俳優）、大塚寧々（俳優） ご夫婦

樋口 莊一郎（株式会社新通 代表取締役社長）、樋口 泰子 ご夫婦

②いい夫婦川柳コンテスト

広く一般より「夫婦」をテーマに川柳を募集。応募作品は5948作品。

③夫婦ボウリング大会

日本ボウリング場協会と共催し、11月の1か月間全国約170ヶ所のボウリングセンターで開催。参加人数は2584組（5168名）。

④いい夫婦の日記念ウォーク

江戸勸進相撲発祥の地として有名な富岡八幡宮をスタートし、ニュースポーツが楽しめる「辰巳の森海浜公園」、釣りの名所としても知られる「潮見さざなみ公園」、ドラマのロケ地としても有名な「しおかぜ橋」などといった観光スポットを巡る約11kmのコースに213名が参加した。

⑤夫婦に関するアンケート調査

夫婦の「気持ち」「暮らし」「コミュニケーション」などの実態や「いい夫婦の日」の認知について把握することを目的とし、一般の夫婦を対象にアンケート調査を実施。11月にマスコミ発表を行った。対象は調査会社モニターより抽出した20歳以上の既婚男女1000名。

■セミナー・会員交流委員会

①ファッションマーケティング研究会

時節の関心事を取り上げ、ファッション情報を会の内外に提供するべく「ファッションマーケティング研究会」を4回開催した。

○第88回ファッションマーケティング研究会

開催日：令和5年5月23日（火）午後2時00分～3時30分

場所：グランドヒル市ヶ谷 東館3階「瑠璃（西）の間」（東京都 新宿区）

テーマ：人新世時代の新・ファッションブランド戦略

講師：加藤芳男 日経BP総合研究所

SDGs & メディカルヘルスラボ アドバイザー

参加人数：58名

内容：

テーマにある「人新生」（ひとしんせい）とは、人類が新しい時代に入ったことを意味し、企業はサステナビリティやESG・SDGsへの対応が不可欠と解説。また、チャットGPTやブロックチェーン等、人間の暮らしを根底から変える革新的なテクノロジーが登場しており、企業のマーケティングやブランド戦略も大きく変わっていくことが予想されると指摘された。

○第89回ファッションマーケティング研究会

開催日：令和5年8月2日（水）午後4時00分～5時30分
（懇親会 午後5時40分～6時30分）

場所：原宿 東郷記念館 4階「天翔」（東京都 渋谷区）

テーマ：社会や文化までも生み出す「メタバース」の可能性

講師：舟越 靖 株式会社HIKKY 代表取締役CEO

参加人数：92名

内容：

アバターと呼ばれる自分の分身が仮想空間の中に入り込み、他者とコミュニケーションを取りゲームやイベントを楽しむことができるメタバースは、徐々にビジネスシーンでの活用事例も増えてきていると解説。また、独自開発したメタバース開発エンジンを通して蓄積された事例から今後の可能性とマーケティング活用法について語っていただいた。

○第90回ファッションマーケティング研究会

開催日：令和5年12月7日（木）午後3時30分～6時00分
（懇親会 午後6時10分～7時00分）

場所：原宿 東郷記念館 4階「天翔」（東京都 渋谷区）

テーマ：ファッション企業必見！ ビジネスを加速する法知識

講師：海老澤美幸 弁護士・ファッションエディター
品田英雄 日経BP総研 客員研究員

参加人数：67名

内容：

海老澤氏よりデジタル化やグローバル化などにより、ファッションを取り巻く環境は大きく変化する中、法律の概要や実務などについて特に知っておくべき最新トピックを解説した。品田氏には日経トレンディで発表された「ヒット商品ベスト30」より、ヒット商品の傾向やヒットの理由を分析、解説いただいた。

○第91回ファッションマーケティング研究会

開催日：令和6年2月14日（水）午後5時00分～6時30分
（新年会 午後6時40分～7時30分）

場所：原宿 東郷記念館 4階「天翔」（東京都 渋谷区）

テーマ：まこと（真実）を語り、まこと（真心）を伝える

講師：小倉 淳 フリーアナウンサー

参加人数：109名

内容：

ビジネスの場のみならず普段の会話においても自分の意思を相手に正確に伝え、理解してもらうためのプレゼンテーションや説得力・交渉力の向上は不可欠である。小倉氏からはスピーチ、交渉に臨んでの発声、言葉選び、構成、話す順序、時間配分などのプレゼンテーションの極意を実例を交えて語っていただいた。

②MFU分科会

より専門的な話題を取り上げたセミナーとして「分科会」を開催した。

○第17回MFU分科会 《東京ネクタイ協同組合と共催》

開催日：令和6年3月13日（水）午後5時00分～6時30分
（懇親会 午後6時40分～7時30分）

場所：東京デザイン専門学校 イベントホール（東京都 渋谷区）

テーマ：安さ至上主義からの脱却

講師：佐野 良 クリエイティブディレクター
矢野 剛 織研新聞社 特別編集委員

コーディネーター：今井千恵 東京ネクタイ協同組合 副理事長

参加人数：78名（会場参加53名、ライブ配信25名）

内容：

ファッションのみならず産業としての「ネクタイ」を基軸として、矢野氏より記者として見聞きしてきた経験と、佐野氏よりバイヤーとして日本国内や海外で製品や工場、職人を直接見て感じたことを対談形式で語っていただくとともに、ネクタイ業界の将来性を探っていただいた。

■情報・広報活動

（1）業務及び財務等に関するディスクロージャー資料を公開することにより、社会的認識を高めるとともに、ホームページ上で構成メンバーのリストを掲載し、ビジネスチャンスの拡大を図った。

（2）各事業を通してSNSの更なる活用と会員相互の接点を広げる事などを目的としてデジタル推進委員会を設置した。「MFUブログ」「フェイスブック」「ツイッター」「インスタグラム」を活用し、情報発信を行った。また、会員向け「YouTube MFU公式チャンネル」では、各事業やセミナーを動画で視聴できるよう配信した。

（3）展示会やイベント等、他団体や企業より依頼のあった後援や共催名義の使用申請に対し、その内容を精査したうえで名義使用を承認した。

○後援

- ・第27回 京・ベストタイ ドレッサー 西陣織工業組合
- ・ジャパンジュエリーフェア 2023 一般社団法人日本ジュエリー協会、他
- ・渋谷ファッションウィーク 2023 秋 渋谷ファッションウィーク実行委員会
- ・渋谷ファッションウィーク 2024 春 渋谷ファッションウィーク実行委員会
- ・パン テキスタイル フェア 東京 2024 中華民国紡織業拓展會（台湾）

○共催

- ・ひなた短編文学賞 フレックスジャパン株式会社